

流山市中中学生意見交換会 実施報告

平成30年8月
流山市



流山市中学生意見交換会 実施報告 目次

I. 中学生意見交換会の概要と趣旨

1. 概要	3
2. 当日の進め方	4

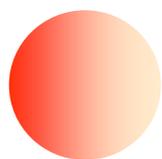
II. 各グループからの意見

1. テーマ1： 流山市の強み（良いところ・好きなところ）、弱み（悪いところ・きらいなところ）	6
2. テーマ2： 強みを伸ばす、弱みを変えるための取組	10
3. テーマ3： 今後こうなってほしいまちの姿	14

III. 参加者へのアンケート

アンケート結果	17
---------	----

I. 中学生意見交換会の概要と趣旨



1. 概要

(1) 日時・場所

- ◆ 平成30年8月1日（水）9時から11時30分まで
- ◆ 流山市コミュニティプラザ 会議室

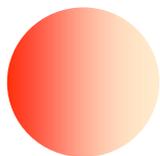
(2) 趣旨

- ◆ 次期総合計画の策定に際し、次代の流山市のまちづくりを担う中学生の意見・要望等を把握するため、「こんなまちになったらいいな！流山」をテーマに、今後こうなってほしいまちの姿に対するアイデアを出してもらうことを目的に実施しました。



(3) 当日の参加者

- ◆ 市内の中学校に通学する中学1年生～3年生17名
当日のファシリテーター（進行）役は、市役所の中堅職員が務めました。



3. 当日の進め方

今回の中学生意見交換会では、「流山市の強み・弱み」を洗い出し、「強みを伸ばす、弱みを変えるための取組」と「今後こうなってほしいまちの姿」の検討を行いました。

9:00～9:05	ガイダンス（意見交換会の目的の説明など）
9:05～11:05	意見交換（グループワーク） （1）テーマ1： 流山の強み（良いところ・好きなところ）、弱み（悪いところ・きらいなところ） （2）テーマ2： 強みを伸ばす、弱みを変えるための取組 （3）テーマ3： 今後こうなってほしいまちの姿
11:05～11:30	意見の発表 （各グループから出された意見を全体で共有）

Ⅱ. 各グループからの意見

1. テーマ1

流山市の強み（1 / 2）

（自然・環境）

- 公園が多くて遊びやすく、地域交流の場にもなっている。
- 緑や自然がたくさんある。
- 学校内に花や緑がたくさんある。
- 都会と自然（いなか）の両方の良さを兼ね備えている。
- 昔ながらのまちと新しいまちが共存している。

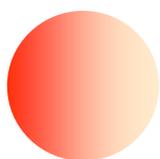
（安全・安心）

- 治安が良い。

（利便性）

- ショッピングセンターやコンビニエンスストアが多く、買い物に便利である。
- 駅が近く、電車の運行本数が多いなど、交通が便利である。
- 東京都心部に近い。
- 道路が整備され、回り道をしなくても目的地に行けるようになった。





1. テーマ1

流山市の強み（2 / 2）

（地域のつながり）

- 地域の中でのコミュニケーション、ボランティア等の活動が活発である。
- 地域の中でのつながりが強い、仲が良い。
- 地域が学校と協力している。
- 地域の中でごみ拾いの活動が行われている。
- 老人ホームでボランティアをする機会がある。

（子育て・教育）

- 児童センターでのイベントが多い。
- 小学校・中学校・高等学校が近く、いろいろな活動を一緒にできる。



1. テーマ1

流山市の弱み（1 / 2）

（自然・環境）

- △ 公園以外に遊ぶところがない。自由に遊べる場所が少ない。
- △ ボール遊びが禁止の公園が多く、中学生が遊べる遊具が少ない。
- △ 通学路や公園にごみが落ちていることが多い。
- △ 河川や水路で少し汚れている箇所がある。
- △ 公園に緑が少なく、日中暑い。

（安全・安心）

- △ 道路の幅が狭く、凸凹の場所がある。
- △ 物流倉庫の新設に伴い、交通量が増え危険である。
- △ 道路の塗装がはがれて見づらい箇所がある。
- △ 流山橋周辺は雑草が多く、自転車での通行が困難である。
- △ 道路と歩道との間に段差がある。
- △ 横断歩道に点字ブロックがない。
- △ 夜間に暗い道がある。街灯が少ない。
- △ 低い土地の浸水が心配である。

1. テーマ1

流山市の弱み（2 / 2）

（利便性）

△ 電車の本数が少ない。

（子育て・教育）

△ 保育園など子どもを預けられる施設の数が足りていない。

△ 幼稚園が少ない。

△ お年寄りから育児の知恵を学べる機会がない。

△ 教室以外の学校内施設（体育館や廊下など）に空調設備がない。

△ 図書館に新しい本があまりない。



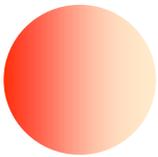
2. テーマ2

強みを伸ばす、弱みを変えるための取組（1 / 4）

（自然・環境を向上させるための取組）

- ◆ 屋根付き・照明付きの公園を整備する。
- ◆ 公園以外にテーマパーク等の遊び場を整備する。
- ◆ 自然が多い場所に、公園などだれもが遊べる場所をつくる。
- ◆ 利根運河の周辺をもっと良好な環境にする。
- ◆ 自然が多いので、その自然をもっと綺麗なものにする。
- ◆ 今ある自然を守りつつ、ショッピングモール等との調和を図る。
- ◆ 地域住民と中学生が一緒になって清掃活動を行う。
- ◆ 古いまちと新しいまちを共存させる。（古い＝汚い＝近寄りたくないイメージの払拭）
- ◆ 古くなった建物をだれもが楽しみ、憩える公共の場に変える。





2. テーマ2

強みを伸ばす、弱みを変えるための取組(2 / 4)

(安全・安心を向上させるための取組)

- ◆ 幅員が狭い道路が多く、通行に危険なため、自転車専用道路をつくる。
- ◆ 幅員が狭く危険な道路を拡幅する。
- ◆ 点字ブロックを整備する。
- ◆ 目のみえない人のために、信号機が青の時には音が鳴るようにする。
- ◆ 街灯を増やす。
- ◆ 堤防をコンクリートで強化する。

(地域のつながりを強めるための取組)

- ◆ 中高生の居場所を確保し、交流を促進するための場所をつくる。
- ◆ 若者や子育て世代と高齢者が交流できるよう、高齢者から学ぶ講習会等の機会を提供する。
- ◆ 高齢者向けのラジオ体操やウォーキングの場を充実させ、地域交流の場とする。
- ◆ 地域ごとの関わりを増やすため、公共施設をもっと活用する。
- ◆ おおたかの森以外の地域にも、人々が集まれる場所をつくる。



2. テーマ2

強みを伸ばす、弱みを変えるための取組(3 / 4)

(認知度を向上させるための取組)

- ◆ 鉄道等で到着地に近づいたら、そのまちの名所等の魅力をアナウンスする。
- ◆ 多くの人々に良いイメージを持ってもらえるよう、新選組との縁をPRしたり、緑を大切にしてみちの魅力を伸ばす。
- ◆ 市内外の駅に流山に関するポスターやパンフレットを置いてもらう。
- ◆ 昔の風情が感じられる情報を市のホームページに載せる。
- ◆ 踏切の音を変える。(時間帯によって音色などが変わる)

(子育て・教育を充実させるための取組)

- ◆ 未利用の土地を幼稚園等の子ども向け施設や公園など、子育て世代のために有効活用する。
- ◆ 学校設備の充実により、教育環境を向上させる。
- ◆ 今までボランティアで曖昧となっていた登下校時の付き添いを、学校や市役所の仕事にする。
- ◆ 待機児童を解消するため、保育園や幼稚園を増やす。
- ◆ 自習スペース等を充実させる。

2. テーマ2

強みを伸ばす、弱みを変えるための取組(4 / 4)

(その他の取組)

- ◆ 市内で働く人を増やすため、仕事体験ができる機会や求人を増やす。
- ◆ ショッピングモールや若者に人気のあるお店を増やす。





3. テーマ3

今後こうなってほしいまちの姿（1 / 2）

（自然・環境を実感できるまち）

- ◆ 自然と共存するまち。
- ◆ 美しい自然の中で遊び、過ごせるまち。
- ◆ 自然が多く、ショッピングモール等のビルも共存しているまち。
- ◆ 都心にも負けないくらい活気があふれているが、自然も損なわないまち。
- ◆ 開発が進んでも自然が保たれているまち。

（安全・安心なまち）

- ◆ 防災設備が充実し、災害の心配が少ないまち。
- ◆ 治安が良く、ごみのポイ捨てがない、安心して気持ちよく暮らせるまち。

（地域のつながりが強いまち）

- ◆ 地域の中に公共施設や商業施設、コミュニティ施設など、常に市民の「居場所」があるまち。
- ◆ 住民同士の交流が活発で、楽しく、のびのびと子育てができる地域づくりに取り組んでいるまち。

3. テーマ3

今後こうなってほしいまちの姿 (2 / 2)

(子育て・教育が充実したまち)

- ◆ 安全で育児に協力的なまち。
- ◆ 安全で子どもたちが自主的に発達していくまち。
- ◆ 教育環境の充実したまち。

(賑わいのあるまち)

- ◆ 大勢の人たちがイベントのために訪れたいくなるまち。
- ◆ 魅力を感じて移住する人が増える、施設が充実した便利なまち。
- ◆ だれもが安心して観光を楽しみ、良いまちだと感じてもらえるまち。

(その他)

- ◆ 住民が愛着を感じられる、「流山といえばこれ」というものがあるまち。
- ◆ 新たに引っ越してきた人でも、歴史を感じられるまち。
- ◆ 自分の子どもや孫にも誇れるまち。



Ⅲ. 参加者へのアンケート



アンケート結果（1 / 3）

【① グループワークを通じて感じた新たな想い】

- 地域への興味関心が高まった。
- 中学生同士で今の流山市やこれからの流山市について話し合うことができよかった。
- 他校の中学生と交流し、自分たちの学校では出なかった新しい意見が聞けて、イメージが膨らんだ。
- 自分たちが将来を担っていくんだという意志を持って取り組めたことが良かった。
- 今は未だ大人になったことを考えることはできないが、見方を変え、様々な意見を持つことで住みやすいまちにつながると思った。
- このような意見交換をする場をたくさん設けられれば、もっと様々な考えが出てくると感じた。
- 今まで気づくことができなかった流山市の良いところや悪いところが分かり、良い経験になった。
- 普段、自分が住んでいる地域以外の問題や良いところを新たに知ることができた。



アンケート結果（2 / 3）

【① グループワークを通じて感じた新たな想い】

- 20年も経てば、お年寄りがもっと増え、不便に感じるが多くなると思うので、小さな工夫から少しずつやっていきたい。
- きれいなまちにするためにポイ捨てをしないなど、自分ができることをまずやっていきたい。
- 流山市を支えていく人になるために、医療や福祉に関する知識を勉強したい。
- 流山市は子育てに力を入れているまちだとあらためて感じたので、「待機児童」や「貧困児童」など、そのような単語が出てこないようなまちにしてほしい。
- 中国地方や近畿地方であった大雨のように、流山市も災害に遭った時に、小さい子どもから高齢者まで、だれ一人として逃げ遅れたり、知識不足で命を落とす人がなくなるように、学校で講座を開いたり、掲示板やプリント等を通して皆に知ってもらいたい。



アンケート結果（3 / 3）

【② グループワークで言えなかった意見】

- 道端でタバコを吸っている人が多いため、しっかり注意できる人を配置するか、掲示板で注意を喚起してほしい。
- ゴミ箱をいろいろなところに置くことが大事。
- 防犯面の課題を解決してほしい。
- 観光に力を入れていくことにより、市が活性化するのではないか。
- 市は、ふるさと納税などの品をもっとアピールしてほしい。
- 自分の中学校でアンケートをした際に、「道路が狭いから直してほしい」や「ショッピングモールなどがほしい」といった意見がたくさんあった。